

# さやまの今本

## お囃子はやしの話

八十八夜も過ぎ、青菜、若葉の新芽の季節になりました。

「テケツク、テケツク、ヒヤカポコ、ヒヤカポコ」と心がうきうきするような、笛やかね、太鼓の音が聞こえてくると、懐かしいふるさとの祭りの世界が広がります。水富の広瀬囃子には、



笛の佐平と呼ばれている名人がおりました。



川越のお殿様の前で、その神技を披露して、お褒めの言葉をいただいたことが、現在の広瀬囃子の始まりだといわれているそうです。

娯楽の少なかった当時はお囃子が盛んで、お殿様の前で笛を奏でた佐平といえ、近郷近在、知らぬ者はいなかったといえます。

佐平吹く笛いつになりやとまる笛のメドコのふさぐ時  
笛の佐平にはうぐいすさえも歌を忘れて聞きほれる  
と、こんな俗謡もあつたそうです。

お囃子の構成は、笛と大太鼓、小太鼓、2個、かね、舞い手の六人で一組といえます。春祭り、秋祭り、縁日や各催事にはかかせない、人のぬくもりのある郷土芸能として、今もなお、親しまれています。

## 市民の作品展

### 俳句

狭山市俳句連盟の選による作品を掲載します。

観梅や父を娘が押す車椅子

山岸 直心なほこころ

土の香や歩幅目安にいも植うる

西留 輝雄にしとめ

観梅や栗羊羹を六つ切に

星野 陽子

老いの杖静かに登る梅見坂

田村ひろし

おみくじの結び目かたし臥龍梅がりゅうばい

下邑はつ子

観梅やここからは道でこぼこに

斎藤 京子

猫くるま倒れていたり梅の花

横山かつ代

だんだんと日の道遠し桃の花

久保田和子

## 編集後記



外はあいにくの雨模様でしたが、狭山台幼稚園には新しく幼稚園児となる25名の子ども

達がご両親に見守られながら元気いっぱい入園しました。その表情は夢と希望に満ちあふれ、これから始まる幼稚園生活を楽しみにしているように見えました。先生方のお話に少々戸惑いながらも、一生懸命に耳を傾け、元気よく返事をしてる姿を見てると、こちらも自然とほおが緩み、カメラのシャッターを切る回数も多くなりました。子ども達には、明るく、元気に幼稚園生活を送ってもらいたいと願っています。

## 分かるかな？

### 今月の写真クイズ

写真は、今月号に掲載した写真の拡大写真です。何ページの何の写真でしょうか？



正解者の中から、抽選で5名に記念品を差し上げます。官製はがきで広報課あてにお送りください。なお、答えと一緒に広報さやまを見て感じたことなど、ご意見もお待ちしています。締切り5月30日4月号の答え



13ページ・ひとまち写真館の津南雪まつり・鳥追い行事の写真でした。

## 👁️で見る「さやま」

人口と世帯(市民課)	5月1日現在( )内は前月比
住民基本台帳人口	外国人登録人口
男 79,540人( - 5人)	946人( + 9人)
女 77,202人( - 60人)	1,222人( + 33人)
合計 156,742人( - 65人)	2,168人( + 42人)
世帯 63,309世帯( + 122世帯)	1,571世帯( + 39世帯)
4月の火災・救急件数(消防本部)	
火災件数	4件(建物2件、その他2件)
救急出動件数	432件(搬送人員409人)
交通事故・刑法犯罪件数(狭山警察署)	
交通事故	1,009件(人身事故240件、内死者3人、物件事故769件)
刑法犯罪	630件(侵入窃盗53件、車上狙い153件、自動車盗等31件、その他493件)
平成20年1月1日~4月15日の累計(概数)	

